

# JAMAH

## NEWS

JAPAN & MYANMAR ASPIRATION  
HOYU ASSOCIATION

2011.3 vol.1

日本ミャンマー豊友会

将来の子供たちが共存共生のできる豊かで平和な世界へ



## 発刊にあたり

代表 近藤秀二

早いもので、私たちがNPO法人日本ミャンマー豊友会(JAMAH)を設立してから、一年余りが経ちました。準備期間中の活動は3~4年にわたって9回のスタディーツアーをおこない、豊友会という異業種交流会の皆様にミャンマーファンを増やしつつ、寺小屋や保育園づくりの支援をすると同時に孤児院への

慰問、活動費の支援を行ってきました。また後半からは、日本の紙芝居をビルマ語に翻訳し各地の小学校で読み聞かせをすると同時に、寄贈をしてまいりました。

この間ミャンマーは、サイクロンの甚大な被害、デモ渦中での長井さんの射殺、 ASEAN加盟、選挙等、大きな事件が相次ぎました。

私達のNPO法人としての活動は4月から第三期に入ります。ミャンマーの少数民族の方々の自立支援事業を末永く継続できるよう、資金調達を行なってゆきます。孤児の人達をはじめ意欲的な若者のための職業訓練学校の設立を考えています。皆様方のいっそうのご支援をお願いします。



【第9回】ミャンマースタディツアーについての感想|

## 日本人が忘れている『慈しみの心』を見つける事が出来ました

大木 光章

ミャンマースタディツアーが皆様のご協力をいただき多くの感動と思い出を得る事が出来ました。又けが人もなく無事に帰国でき本当に有り難うございました。感謝感謝です。

Nihtweさん、八幡さん、帰国直前まで準備いただいた柴田さん有り難うございました。

私も今回の旅行を通じ多くの気付きを頂きました。

### ■ミャンマー人の思考と

#### 上座部仏教の瞑想について

ミャンマーの人の85%は、上座部仏教を信仰しています。

上座部仏教は、日本の大乗仏教と違い「自己の修行により自己一人のみが救われる」という考え方です。『上座部仏教の教義では、限りない輪廻を繰り返す生は「苦しみ』である。この苦しみの原因は、こころの執着である。そして、こころの執着を断ち輪廻を解脱するための最も効果的な方法は、経典の学習、戒律の厳守、瞑想の修行であ

るとする。』

このように仏教徒は、毎日の生活の中で戒律を守り修行に励む事を根本として居ますがなかなか一般の人は戒律を守る事が出来ません。そこで僧侶(現実には仏教徒として戒律を守って生活し、信仰しているのは僧侶だけ)を尊敬してその修行を支える事で来世が約束されると信じている事実を知りました。(寄進とお布施する事が僧侶を支える事になり功徳を積んでいく事になる。)極端に言えば戒律を犯しても寄進、お布施を多くすれば戒律を犯す罪は無くなり来世が約束されると言う思考になっているようです。

善惡の基準は、やはり人間性によるもので田舎の貧しい?純朴な人の方が純粹に人間としての価値観を(戒律を守る)がある様でまさしく日本の昔の価値観と同じ様に感じました。

ミャンマーを旅して安らぎと親しみを感じる事が出来るのは田舎の

人々とのふれあいが同じ価値観である日本人として波長が合うからではないかと感じています。

### ■瞑想について

私は、写真を撮る事に集中していてNihtweさんの説明を良く聞いてなく瞑想方法が間違っていたため瞑想でなく単なる苦痛の時間でしたがNihtweさんのお話を聞けば聞く程『瞑想』の重要性を理解する事が出来ました。瞑想は、痛み、睡魔、妄想、の現象、煩悩で苦しみ、執着心で自己を縛り付けている現在の自分自身の存在をめざめ、その現象を客観的にみるもう一人の自分を顕在化してSOMETHING GREATとの対話を通じて人間としての価値観、生き方を見つける事が出来る素晴らしい修行です。(ちょっと難しい!)

世界中の人々が損得好嫌いの価値観からSOMETHING GREATの価値観に触れて、その価値観に沿った考え方で行動する事が出来



吉田さん岩田さんがキャンデーをあげる



## 9th Myanmar Case Study Tour

たならば(他宗教も同じ事を伝えていると思いますが)争いの無い極楽浄土の世界が実現出来るのではと思えてなりません。

### ■少女の微笑み

マンダレーでの出来事です。市場で男の子を抱いた少女にあいました。

熊谷さんが少女を見つけ写真を撮って話しかけました。心優しい吉田さんは、持っていたキャンデーを男の子にあげました。その時の少女の仕草がとても印象的で思わずシャッターを切ってしまいました。岩田さんは、少女が見た事も無い

物を貰い戸惑っている少女を見かねてキャンデーの包装を取ってキャンデーである事を説明して男の子に食べさせました。

少女は、男の子がキャンデーを食べる様子をみて微笑むのです。その微笑みその目は、母親が愛しい我が子に見せる眼差しでした。又、少女は、自分の分のキャンデーを食べようともせず男の子に持たせて、又微笑むのです。自分でもきっと食べたいと思ったでしょうがそれ以上に男の子の喜ぶ笑顔が彼女に取って喜びなのでしょう。ミャンマー人が持つ(昔の日本人も持っていた)素晴らしさを見つける事が出来ました。

貧しいからこそ物の有り難さが分かり、人の優しさが分かるのでしょうか。

人間に取って経済成長する事が良いかどうか疑問ですね。ミャンマーは、確実に経済成長して行きます。しかし経済成

長して潤うのは、一部の階級の人ばかりでしょう。経済成長しても搾取される人々は、底辺の人たちです。その人達こそ本当の意味での優しさを持っているのではないでしょうか。本当に困窮している人たちへの自立支援が必要ではないでしょうか。又押しつけの支援でなく多くの方に望まれる自立支援活動こそ我々が目指す支援活動であるとおもいます。

日本の子供たちとミャンマーの子供たちにとって正しい成長を目指さないと国がダメになる様に思います。正しい価値観で活動を行い、真に両国に貢献できる活動こそ我々しか出来ない活動だと確信しております。崇高なる理念とその理念を具現化して日本の子供達にミャンマーを通して日本人が持っている素晴らしい心『慈しみの心』取り戻す活動をしていきたいとおもいます。皆さん色々と気付きを頂き有難うございました。



## 平成 23 年度ミャンマースタディーツアー旅行日程

日	日程					宿泊先
2011.3.16 水曜日	名古屋国際空港集合9:00 TG645 NGO 11:00 - BKK 15:45 (福岡TG649 11:40発～バンコク着15:35) TG305 BKK 17:55 RGN 18:40 TG305便にて集合					
						Park royal Hotel 01-250388 宿泊 Single Room
2011.3.17 木曜日	ホテル8:00出発 タクシー W9-119 RGN 11:00 - HEHO 12:10 HEHO空港—タウンジー村民議長と面談 幼稚園見学 ハイエースにて移動搭乗					HuPin Inle Khaung Daing 95-81-209291.95-81-209292 宿泊 ツインルーム
2011.3.18 金曜日	ホテル8:00出発 船2台 1日チャーター 搭乗10名 インレー湖幼稚園見学 インレー湖周辺観光 タンボジ寄宿寮(一昨年自転車寄付先)清掃奉仕—ホテル ホテルータ食及び柴田さんの講話(地球市民の会) 夕食(夕食後 地球市民の会 柴田さんの講話) 食事18名					朝食○ ホテル HuPin Inle Khaung Daing 95-81-209291.95-81-209292 宿泊 ツインルーム
2011.3.19 土曜日	ホテル8:00出発 ハイエースにて移動搭乗 HEHO空港—タウンジーティハムスエ瞑想センター 昼食及び僧侶の講話、瞑想体験 6T-808 HEHO 11:45 - MDL 12:20 マンダレー空港～タ食(メニュー) メミヨー ドーピン孤児院 メニュー観光					朝食○ ホテル Maymyo Thiri Myaming 宿泊 ツインルーム
2011.3.20 日曜日	ホテル8:00出発 ハイエースにて移動搭乗 メミヨー ドーピン孤児院 メニュー観光 マンダレー(ミャンマー)観光 ミングォン(養老院・バヤー)-昼食 ザガインヒルの日本人慰靈塔参拝					朝食○ ホテル Mandalay Swan Hotel 02-35678 宿泊 ツインルーム
2011.3.21 月曜日	ホテル 8:00出発 ワチエ病院(ジャパンハート)院内見学、慰問、 紙芝居上演及び絵本寄贈、吉岡ドクターのお話。 6T-502 MDL 13:15 - NYU 13:45 バカン観光					朝食○ ホテル Bagan Hotel 061-60025 宿泊 ツインルーム
2011.3.22 火曜日	ホテル 8:00出発 - RGN W9141 NYU 7:45 ヤンゴン市内 ウィッタカ孤児院訪問 ジャパンハート孤児院建設現場視察 昼食ジャパンハート河野さんの講話 市内観光 森さんバンコクへ					朝食○ ホテル Park royal Hotel 01-250388 宿泊 Single Room
2011.3.23 水曜日	TG306 RGN 19:40 - BKK 21:35 市内観光					機中泊
	TG306 RGN 19:40 - BKK 21:35					
2011.3.24 木曜日	TG647 NGO 16:55 BKK 21:40 福岡便 バンコク発 TG648 1:00発～8:00着					朝中部国際空港にて解散